

(案)

物 品 売 買 契 約 書

- | | |
|-------------|---------------------------------------|
| 1 物 品 名 | 鋸南系加圧ポンプ場用ポンプ |
| 2 納 入 数 量 | ポンプ 1 台
フライホイール兼用軸継手 1 組 |
| 3 金 額 | 金 円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 金 円) |
| 4 納 入 場 所 | 千葉県鴨川市金束字柳作 1021 番地 鋸南系加圧ポンプ場 |
| 5 納 入 期 限 | 契約日の翌日から令和 8 年 3 月 1 3 日まで |
| 6 検 査 期 日 | 物品の納入完了後 1 0 日以内 |
| 7 対価支払期限 | 検査を終了し、納入者からの適法な支払請求書を受理した日から 3 0 日以内 |
| 8 契 約 保 証 金 | |

上記物品を前記金額をもって購入するにつき、購入者 南房総広域水道企業団 とし、納入者 として、次のとおり売買契約を締結する。

第 1 条 納入者は購入者の提示する規格に基づいて前記期限内に購入者の定める場所に現品を納入するものとする。

第 2 条 納入者は、物品の納入を完了したときは購入者の指定した職員の検査を受けなければならない。

第 3 条 検査前において、物品の滅失その他いかなる瑕疵があっても、その損害はすべて納入者の負担とする。

第 4 条 検査の結果不合格とされた場合は、購入者が指定した期限内に納入者はこれを良品と交換しなければならない。この場合において、その費用及びこれに伴う損害は納入者がこれを負担するものとする。

第 5 条 現品納入後購入者において損傷等を発見した場合にはそれが購入者の過失による場合を除き納入者は購入者の指定する期日までにこれを良品と交換するものとする。

2 前項の場合において、納入者が交換に応ずる期間は現品納入後 1 年間とする。

第 6 条 納入者は本契約の期限内に合格品を納付できないときは、購入者は、特に遅滞金を徴して延期を許可することができる。ただし、遅滞金はその期限の翌日から履行した日までの日数につき、契約金額に契約締結の日における政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和 2 4 年法律第 2 5 6 号）第 8 条第 1 項に規定する財務大臣が決定する率を乗じて計算した額（100 円未満の端数があるとき又は 100 円未満であるときは、その

端数額又はその全額を切り捨てる。)とし、遅滞金は契約金額から控除する。

2 前項に規定する遅滞金の額の計算につき前項の定める年当たりの割合は、閏年を含む期間についても365日当たりの割合とする。

第7条 現品の納入に必要なすべての費用は、契約代金に含むものとする。

第8条 購入者の都合によって契約の変更又は一時中止を命ずるときは、納入者は、これを拒むことができない。ただし、この場合この契約の期限を短縮する必要があるときは購入者がこれを定める。

第9条 前条の変更により契約金額を増減する必要があるとき又はこの契約締結後において、市場価格に大幅な変動があり購入者が価格を変更する必要を認めた場合は購入者は納入者と協議の上、購入者が相当と認めたところによって金額を変更することができる。

第10条 天災事変その他やむをえない理由によって、本契約の期限内に現品を納入することができない場合、購入者はその請求を正当と認めたときはこれを許可して第6条の遅滞金を免除することができる。

第11条 次の各号の一に該当するときは、購入者は、この契約を解除することができる。この場合の損害は、すべて納入者が負担するものとする。

- (1) 本契約の期限内に合格品の納付を終えないとき
- (2) 納入者の過怠により義務を履行することができないと認めたとき
- (3) 現品の検査に際し、納入者が購入者の職務執行を妨げたとき、又は購入者が納入者の行為に詐欺その他の不正の行為があると認めたとき

第12条 この契約書に定めのない事項については、必要に応じ、購入者と納入者で協議の上、その取扱いを定めるものとする。

以上の契約の締結を証するためにこの証書2通を作成し、双方記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

住 所	千葉県夷隅郡大多喜町小谷松 500 番地
購入者	南房総広域水道企業団
氏 名	企業長 太 田 洋 ㊟

住 所	
納入者	
氏 名	㊟